

2 監 査 第 6 2 号

令和2年8月20日

京丹後市長 中 山 泰 様

京丹後市監査委員 東 幹 夫

京丹後市監査委員 松 本 聖 司

令和元年度京丹後市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和元年度京丹後市水道事業会計及び京丹後市病院事業会計の決算について審査したので、別紙のとおり意見書を提出します。

令和元年度

京丹後市公営企業会計決算審査意見書

京丹後市水道事業会計

京丹後市病院事業会計

京丹後市監査委員

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
1	水道事業	2
(1)	事業の概況	2
(2)	予算執行状況（税込）	2
ア	収益的収入及び支出	2
イ	資本的収入及び支出	3
(3)	経営成績（税抜）	5
(4)	財政状態（税抜）	6
(5)	むすび	7
2	病院事業	9
(1)	事業の概況	9
ア	入院患者の状況	9
イ	外来患者の状況	9
ウ	訪問看護事業の状況	10
エ	通所リハビリテーション事業の状況	10
(2)	予算執行状況（税込）	10
ア	収益的収入及び支出	10
イ	資本的収入及び支出	11
(3)	経営成績（税抜）	13
(4)	財政状態（税抜）	14
(5)	むすび	16
	決算審査資料	18

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和元年度京丹後市水道事業会計決算
令和元年度京丹後市病院事業会計決算
上記各会計決算附属書類

2 審査の期間

令和2年6月30日から令和2年8月20日

3 審査の方法

審査に当たっては、市長から提出された各事業会計の決算書及び附属書類が、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、計数が正確であるか、各事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかを確認するため、関係諸帳簿と照合したほか、関係職員から説明を聴取して実施した。

第2 審査の結果

審査に付された各事業会計決算書及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、これらに記載された計数は正確で、経営成績及び財政状態を適正に表示していると認められた。また、予算の執行及び関連する事務の処理は、おおむね適正に行われているものと認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

なお、文中及び表中の数値は、四捨五入を基本として（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）表示しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

1 水道事業

(1) 事業の概況

事業の概要は、別表1のとおりである。

平成31年4月1日をもって簡易水道事業が統合されたことにより、給水件数は24,006件で、前年度に比べて10,402件増加し、給水人口も21,644人増加して50,938人となっている。

年間総配水量は7,369,836 m³で、前年度に比べて3,156,753 m³の増加となっており、年間総有収水量も5,833,225 m³と2,492,346 m³の増加となっている。

有効率は81.87%、有収率は79.15%で、前年度に比べ有効率は0.68ポイント上昇、有収率は0.15ポイント低下している。

給水人口が年々減少していることに加え、社会経済情勢や生活様式の変化に伴う市民の節水意識の向上などによる水需要の変動については、引き続き注視していかねばならない。

管路の状況は、次のとおりである。

(単位：km、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
管路総延長	812.52	362.52	361.59
石綿管総延長	14.43	6.88	6.88
石綿管布設率	1.8	1.9	1.9

管路総延長812.52 kmのうち石綿管は14.43 km (1.8%) で、改善が図られているが、有収率の向上を図る上からも、引き続き老朽管の布設替等が必要である。特に石綿管の布設替を優先して、早急かつ効率的に更新を進められたい。

(2) 予算執行状況 (税込)

ア 収益的収入及び支出

収益的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表2、決算書P4, P5参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
水道事業収益	1,388,612	1,473,509	84,897	106.1
営業収益	1,211,329	1,189,854	△21,475	98.2
営業外収益	177,283	283,655	106,372	160.0

収益的収入である水道事業収益は、予算額13億8,861万2千円に対して決算額14億7,350万9千円で、収入率は106.1%となっている。これは、消費税及び地方消費税還付金が3,107万1千円予算額を下回った一方で、長期前受金戻入が1億3,790

万8千円上回ったことなどによるものである。

収益的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表2、決算書P4, P5参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	1,700,934	1,573,926	127,008	92.5
営業費用	1,491,285	1,416,952	74,333	95.0
営業外費用	148,491	144,925	3,566	97.5
特別損失	51,158	12,049	39,109	23.5
予備費	10,000	0	10,000	0.0

収益的支出である水道事業費用は、予算額17億93万4千円に対して決算額15億7,392万6千円で、執行率は92.5%である。不用額の主なものは、営業費用で原水及び浄水費1億726万円、配水及び給水費3,427万2千円、資産減耗費5,604万9千円、特別損失で資産減耗費3,910万8千円である。営業費用で減価償却費1億3,483万5千円の予算超過が発生しているが、公営企業会計では認められる会計処理(地方公営企業法施行令第18条第5項ただし書)である。

イ 資本的収入及び支出

資本的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表3、決算書P6, P7参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
資本的収入	1,350,093	768,349	△581,744	56.9
加入金	9,335	10,291	956	110.2
企業債	787,700	279,700	△508,000	35.5
補助金	0	0	0	—
出資金	553,058	478,358	△74,700	86.4

資本的収入は、予算額13億5,009万3千円に対して決算額7億6,834万9千円で、収入率は56.9%である。これは、予算額に対して加入金が95万6千円上回った一方で、企業債が5億800万円、他会計出資金が7,470万円下回ったことによるものである。

資本的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表3、決算書P6, P7参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	1,967,912	1,368,460	484,681	114,771	69.5
建設改良費	1,390,058	790,607	484,681	114,770	56.8

企業債償還金	577,854	577,853	0	1	99.9
--------	---------	---------	---	---	------

資本的支出は、予算額 19 億 6,791 万 2 千円に対して決算額 13 億 6,846 万円で、4 億 8,468 万 1 千円を翌年度に繰り越し、執行率は 69.5%となった。主な不用額は、固定資産取得費 965 万 8 千円、施設改良事業費 1 億 511 万 2 千円である。翌年度繰越分の内訳は、施設改良事業 2 億 7,850 万円、中野浄水場更新整備事業 2 億 618 万 1 千円である。

主な施設整備の状況は、次のとおりである。

(決算書 P20～22 参照)

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
浄水施設	中野浄水場更新工事（機械設備） 継続費 平成 30 年度分	112,131
	中野浄水場更新工事（土木 I 期） 継続費 平成 30 年度分	382,770
	令和元年度 中野浄水場 3 号送水ポンプ更新工事	6,886
建設改良 (500 万円以上)	長岡地区管渠布設工事その 34（水道単独分）	8,953
	善王寺地区管渠布設工事その 20（水道単独分）	11,814
	網野地区管渠布設工事その 46（水道単独分）	23,832
	平成 30 年度 市道五反田東トン田線配水管布設替工事	8,467
	長岡地区管渠布設工事その 37（水道単独分）	11,580
	網野地区管渠布設工事その 47（水道単独分）	14,005
	平成 31 年度 国道 482 号（吉沢地区）配水管布設替工事	13,222
	令和元年度 和田野地区配水管布設替工事	9,140
	令和元年度 上野平バイパス工事に伴う配水管移設工事	5,709
	令和元年度 大路地区配水管布設替工事	41,745
	佐野乙配水池場内整備工事	9,548
	令和元年度 市道新宮線配水管布設替工事	9,980
令和元年度 市道乗定中川原線配水管布設替工事	9,449	

安全で安心な水道水の安定供給を図るために、中野浄水場更新工事や、下水道工事及び京都府の道路改良工事に併せた老朽管の布設替工事などが計画的に実施され

ている。中野浄水場更新工事は逡次繰越となっており、次年度以降についても、将来を見通した的確な財務分析による計画的かつ効率的な事業推進を期待するものである。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額6億11万1千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,251万3千円、過年度分損益勘定留保資金5億4,759万8千円で補てんしている。(別表3-(3)参照)

(3) 経営成績 (税抜)

損益計算書による経営成績は、次のとおりである。

(別表4参照)

(単位:千円、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
総 収 益 (A)	1,370,966	660,461	667,378	619,444	675,657
総 費 用 (B)	1,535,088	704,256	701,377	704,331	724,583
純 損 益	△164,122	△43,795	△33,999	△84,887	△48,926
比 率 (A)/(B)	89.3	93.8	95.2	87.9	93.2

総収益13億7,096万6千円に対して総費用は15億3,508万8千円で、差引き1億6,412万2千円の純損失となっている。この結果、前年度繰越利益剰余金2億4,457万4千円と差し引きし、当年度未処理欠損金は8,497万2千円と減少した。(別表9参照)

総収益は、営業収益の給水収益(水道使用料)が4億5,783万4千円、営業外収益の長期前受金戻入が1億4,160万2千円増加したことなどにより、前年度に比べて7億1,050万5千円(107.6%)の増加となった。

総費用は、前年度に比べて8億3,083万2千円(118.0%)増加した。営業費用では原水及び浄水費が1億8,966万9千円、減価償却費が簡易水道事業を統合し施設を引き継いだことなどにより4億3,575万6千円、営業外費用では支払利息が8,917万2千円増加している。

有収水量1m³当たりの供給単価及び給水原価は、次のとおりである。

(別表1参照)

(単位:円)

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
供給単価 ①	184.41	184.94	184.76	184.17	184.41
給水原価 ②	231.60	201.68	198.84	216.33	204.09
利益 ①-②	△47.19	△16.74	△14.08	△32.16	△19.68

供給単価は前年度に比べて53銭安く、給水原価は29円92銭高くなっている。その結果、有収水量1m³当たりの赤字額は前年度に比べて30円45銭増加し、47円19銭となった。給水人口の減少とともに、節水意識の向上、節水型家電製品の普及などによっ

て水需要の増加が見込めないことや、施設整備等で減価償却費が大きくなる傾向から、慢性的な赤字経営体質であることを示している。

また、総収支比率は、別表5のとおり89.3%と10年連続の純損失となり、経常収支比率も90.0%で9年連続の単年度赤字となった。

(4) 財政状態（税抜）

貸借対照表による財政状態は、次のとおりである。

（別表6～9参照）

（単位：千円）

区 分		令和元年度	平成30年度	平成29年度
資 産	固定資産	15,459,696	6,490,968	6,244,357
	流動資産	1,542,027	1,598,707	1,249,612
	計	17,001,723	8,089,675	7,493,969
負 債	固定負債	8,757,121	2,818,459	2,726,499
	流動負債	891,002	629,946	316,811
	繰延収益	3,395,256	831,738	839,032
	計	13,043,379	4,280,143	3,882,342
資 本	資本金	3,517,860	3,039,502	2,797,802
	剰余金	440,484	770,030	813,825
	計	3,958,344	3,809,532	3,611,627
負債資本合計		17,001,723	8,089,675	7,493,969

資産の総額は170億172万3千円で、前年度に比べて89億1,204万8千円(110.2%)増加している。固定資産の増加は、構築物が69億627万4千円、機械及び装置が9億8,469万6千円、建設仮勘定が4億8,821万4千円増加したことなどによるもので、統合した簡易水道事業からの引継ぎが主な要因である。流動資産の減少は、未収金が9,129万3千円、前払金が7,176万7千円増加した一方で、現金預金が2億2,152万3千円減少したことなどによるものである。

流動資産である水道料金の未収金の状況は、次のとおりである。（別表10参照）
令和2年3月31日現在

（単位：件、千円）

区 分	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未 収 金	43,711	171,427	26,181	96,863	26,372	102,959
不 納 欠 損	961	1,979	263	468	378	2,135
債権放棄	961	1,979	263	468	358	1,467
債権消滅等	0	0	0	0	20	668

未収金の総額は1億7,142万7千円で、前年度に比べて7,456万4千円増加（件数は17,530件増加）している。簡易水道事業の統合に伴い、その未収分が上乘せとなり、件数、金額共に大幅な増加となっている。また、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、債権放棄961件、197万9千円の不納欠損を処理した。

負債の総額は130億4,337万9千円で、前年度に比べて87億6,323万6千円増加している。固定負債の増加は、企業債59億3,866万2千円の増によるものであり、流動負債の増加は、未払金が2億2,902万4千円減少したものの、一時借入金5,360万円、企業債が4億3,788万4千円増加したことなどによるものである。

資本の総額は39億5,834万4千円で、前年度に比べて1億4,881万2千円（3.9%）増加している。資本金の増加は、利益剰余金が3億2,954万6千円減少（別表9）したものの、自己資本金が4億7,835万8千円増加（別表8）したことによるものである。

企業債の状況は、次のとおりである。

（決算書P26, P32参照）

（単位：千円）

平成30年度末 残高	令和元年度			令和元年度末 残高	令和元年度 支払利息
	簡易水道事業の統合による引継	発行額	償還額		
2,946,155	6,674,699	333,300	577,853	9,376,301	144,469

企業債残高は93億7,630万1千円で、簡易水道事業の統合による引継ぎ分に加え、新規の借入れも増加しており、前年度に比べ64億3,014万6千円（218.3%）の大きな増加となっている。企業債利息は1億4,446万9千円で、営業収益（税抜）10億9,639万9千円に占める割合は13.2%と、前年度に比べて4.4ポイント上昇している。

（別表4参照）

(5) むすび

令和元年度は、特別会計であった簡易水道事業が平成31年4月1日をもって水道事業へ統合されたことに伴い、前年度の決算と比べて数値が大幅に変動している。

水道事業会計の経営成績は、事業収益13億7,096万6千円に対して事業費用は15億3,508万8千円、差引き△1億6,412万2千円で、10年連続の当年度純損失となった。また、特別損失を除いた経常収支については9年連続の赤字である。従来からの赤字経営体質に加え、簡易水道事業の統合によって、より一層厳しい経営状況となっている。

収益面では、給水人口の減少、節水型家電製品の普及、節水意識の向上などによって今後も水需要の増加が見込めない状況にあり、安定的な収益の確保が懸念される。費用面では、基幹施設である中野浄水場の更新整備事業や老朽管の布設替工事など、引

き続き多額の設備投資が必要であり、経営状況はますます厳しいものとなることが予測される。そのような中で、経営改善に向けた方策を実効性のあるものにするため、決算の機会を捉えて、その数値と市水道事業基本計画及び市水道事業経営計画に掲げる数値とを年度ごとに対照し、検証され、効率的な事業運営と管理体制が構築されることを期待する。また、簡易水道事業の統合で給水区域が拡大していることから、給水人口及び水需要に応じた施設の統廃合や給水エリアの変更を検討するには、給水原価や有収率などを地区単位で分析することも有益である。併せて、災害対策や緊急時の危機管理等の強化といった点にも留意し、不測の事態が生じても将来にわたって水道事業の健全な運営が確保できるよう備える必要があり、長期的な見通しをもって、原価計算に基づく料金体系の見直しや維持管理経費等の更なる削減を図るなど、一層の努力が望まれる。

水道料金については、令和元年度末の未収金の額は1億7,142万7千円と前年度に比べて7,456万4千円の増（令和2年5月末現在は7,818万1千円で前年度に比べて3,372万1千円の増）となっている。未収金対策として、年4回の給水停止の実施や、徴収の見込めない不良債権について京丹後市債権の管理に関する条例に基づき不納欠損を処理するなど、滞納整理の努力が見られるが、依然として多額の未収金を抱えている。利用者の負担の公平性の確保と経営の健全化を推し進める観点からも、適正な債権の管理は極めて重要であり、今後も滞納者に対する継続的な働きかけや給水停止等の措置を行うなど、未収金の回収に向けた積極的な対応を求めるものである。また、新たな未納者の発生を防ぐため初期の徴収体制を強化するなど、収納率向上のための対策を講じることが必要である。

水道事業は、市民生活や経済活動に不可欠なものであり、近年多発する自然災害などへの危機管理、対応は重要な課題である。職員の研修の充実や資格取得を支援するなど、水道技術者の育成にも注力して、限られた職員数で緊急事態にも迅速に対応できるよう維持管理体制の強化に取り組むとともに、経営基盤の確立や効率的かつ合理的な事業運営に一層努められ、より安全で良質な水道水が安定的に市民に供給されるよう期待するものである。

2 病院事業

(1) 事業の概況

事業の概要は、別表 11 のとおりである。

一般病床と療養病床を合わせた入院患者数は、弥栄病院が延 50,168 人（1 日平均 137.1 人）、久美浜病院が延 54,017 人（同 147.6 人）で、前年度に比べて弥栄病院が 2,675 人（同 7.7 人）の減少、久美浜病院が 1,347 人（同 4.1 人）の減少となった。

外来患者数は、弥栄病院で延 96,549 人（1 日平均 399.0 人）、久美浜病院で延 77,091 人（同 318.6 人）となり、前年度に比べて弥栄病院は 1,476 人（同 2.7 人）の減少、久美浜病院は 87 人の減少（同 2.3 人の増加）となった。

病床利用率は、弥栄病院は、前年度に比べて 3.6 ポイント低下し 68.9%に、久美浜病院は 2.4 ポイント低下し 86.8%の結果となった。

ア 入院患者の状況

入院患者の状況は、別表 12、別表 15 及び別表 16 のとおりである。

一般病床においては、弥栄病院では外科、整形外科などで患者数が増加したが、内科、産婦人科で減少し、延患者数は 35,166 人と、前年度に比べて 2,054 人の減となった。また、久美浜病院では内科、整形外科などで患者数が増加したが、外科、歯科・歯科口腔外科で減少し、延患者数は 35,247 人で、前年度に比べて 1,027 人の減となった。

療養病床においては、弥栄病院では延患者数が 15,002 人で前年度に比べて 621 人の減、久美浜病院では 18,770 人と前年度に比べて 320 人の減となった。

施設の利用状況を表す病床利用率は、別表 18 のとおりである。

弥栄病院の一般病床の利用率は 64.1%で、前年度に比べて 3.9 ポイント低下し、療養病床では 83.7%で 2.6 ポイント低下した。久美浜病院の一般病床の利用率は 87.5%で、前年度に比べて 2.8 ポイント低下し、療養病床でも 85.5%と 1.7 ポイント低下した。

イ 外来患者の状況

外来患者の状況は、別表 12 及び別表 17 のとおりである。

弥栄病院では、外科、整形外科、人工透析などで患者数が増加したが、内科、産婦人科などで減少し、延患者数は 96,549 人と、前年度に比べ 1,476 人の減となった。

久美浜病院では、眼科、泌尿器科などで患者数が増加したが、内科、小児科、歯科・歯科口腔外科などで減少し、延患者数は 77,091 人と、前年度に比べ 87 人の減となった。

なお、診療実日数は、弥栄病院、久美浜病院共に前年度よりも 2 日少ない 242 日

であった。

ウ 訪問看護事業の状況

訪問看護事業の状況は、別表 13 のとおりである。

弥栄病院では、訪問実人数は 2,952 人で前年度に比べ 252 人の増、訪問延人数は 12,135 人で前年度に比べ 1,044 人の増となった。久美浜病院では、訪問実人数は 1,459 人で前年度に比べ 216 人の増、訪問延人数は 7,025 人で前年度に比べ 979 人の増と、共に大幅な増加となった。

高齢化や核家族化が進行する中、訪問患者数は年々増加している。在宅医療の充実や生活の安定のために大切な事業であるので、今後も地域の実状に即した運営を望むものである。

エ 通所リハビリテーション事業の状況

通所リハビリテーション事業の状況は、別表 14 のとおりである。

平成 19 年度から久美浜病院で実施されている事業であり、通所実人数は 609 人で前年度より 32 人の増、通所延人数は 4,182 人と 208 人の増となった。

(2) 予算執行状況（税込）

ア 収益的収入及び支出

収益的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

（決算書 P4, P5 及び別表 21 参照）

（単位：千円、％）

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
弥栄病院事業収益	4,700,586	4,116,828	△583,758	87.5
医業収益	4,120,604	3,535,228	△585,376	85.7
医業外収益	446,905	444,620	△2,285	99.4
訪問看護事業収益	110,524	114,426	3,902	103.5
特別利益	22,553	22,554	1	100.0
久美浜病院事業収益	2,862,335	2,871,238	8,903	100.3
医業収益	2,442,754	2,448,400	5,646	100.2
医業外収益	257,272	261,195	3,923	101.5
訪問看護事業収益	57,979	61,250	3,271	105.6
通所リハビリテーション事業収益	45,040	41,101	△3,939	91.2
特別利益	59,290	59,292	2	100.0
合 計	7,562,921	6,988,066	△574,855	92.3

収益的収入である病院事業収益は、予算額 75 億 6,292 万 1 千円に対して決算額 69

億8,806万6千円で、収入率は92.3%となっている。

医業収益は、両病院共に前年度に比べて増加しており、両病院を合計した増収額は4億5,994万7千円（弥栄病院2億6,212万2千円、久美浜病院1億9,782万5千円の増）であった。

訪問看護事業収益も、両病院共に前年度に比べて増加しており、両病院で1,880万7千円（弥栄病院1,067万4千円、久美浜病院813万3千円の増）の増収となった。

収益的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

（決算書 P6, P7 及び別表 21 参照）

（単位：千円、%）

区 分	予算額	決算額	繰越額	不用額	執行率
弥栄病院事業費用	4,700,586	4,452,741	11	247,834	94.7
医業費用	4,495,887	4,266,540	11	229,336	94.8
医業外費用	88,991	79,296	0	9,695	89.1
訪問看護事業費用	107,725	104,205	0	3,520	96.7
特別損失	2,700	2,700	0	0	100.0
予備費	5,283	0	0	5,283	0.0
久美浜病院事業費用	2,862,335	2,812,123	297	49,915	98.2
医業費用	2,715,670	2,688,068	297	27,305	98.9
医業外費用	51,484	47,134	0	4,350	91.5
訪問看護事業費用	41,356	40,973	0	383	99.0
通所リハビリテーション事業費用	35,741	33,248	0	2,493	93.0
特別損失	2,700	2,700	0	0	100.0
予備費	15,384	0	0	15,384	0.0
合 計	7,562,921	7,264,864	308	297,749	96.0

収益的支出である病院事業費用は、予算額75億6,292万1千円に対して決算額72億6,486万4千円で、執行率は96.0%となっている。不用額は総額2億9,774万9千円で、その大半は、医業費用における給与費及び経費である。

イ 資本的収入及び支出

資本的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

（決算書 P8, P9 及び別表 22 参照）

（単位：千円、%）

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
弥栄病院資本的収入	266,845	267,095	250	100.0
企業債	108,800	108,800	0	100.0
他会計負担金	3,475	3,475	0	100.0

補助金	2,750	2,750	0	100.0
他会計出資金	151,070	151,070	0	100.0
長期貸付金返還金	750	750	0	100.0
寄附金	0	250	250	—
久美浜病院資本的収入	253,302	253,302	0	100.0
企業債	74,000	74,000	0	100.0
他会計負担金	13,842	13,842	0	100.0
補助金	2,750	2,750	0	100.0
他会計出資金	161,960	161,960	0	100.0
長期貸付金返還金	750	750	0	100.0
合 計	520,147	520,397	250	100.0

資本的収入は、予算額5億2,014万7千円に対して決算額5億2,039万7千円で、収入率は100.0%となっている。

資本的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(決算書 P10, P11 及び別表 22 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
弥栄病院資本的支出	378,869	378,867	0	2	99.9
建設改良費	112,782	112,781	0	1	99.9
企業債償還金	261,562	261,561	0	1	99.9
長期貸付金	4,525	4,525	0	0	100.0
久美浜病院資本的支出	370,504	368,728	0	1,776	99.5
建設改良費	100,076	98,301	0	1,775	98.2
企業債償還金	265,903	265,902	0	1	99.9
長期貸付金	4,525	4,525	0	0	100.0
合 計	749,373	747,595	0	1,778	99.7

資本的支出は、予算額7億4,937万3千円に対して決算額7億4,759万5千円で、執行率は99.7%となっている。

主な施設整備の状況は、次のとおりである。

(決算書 P29, P39 参照)

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
建設改良 (5百万円以上)	新町医師住宅改修工事 (建築主体工事)	13,779
	新町医師住宅改修工事 (機械設備工事)	7,329
	エレベーター制御盤等改修工事	7,150

		高架水槽更新工事	10,450
資産購入 (10百万円以上)	弥栄病院	統合型モニタ管理システム	11,990
		高圧蒸気滅菌装置	13,508
		手術台	14,300

前年度と比較すると、件数は横ばいであるが、平成30年度に弥栄病院改築整備等工事等に係るものが挙がっていたことが影響して、金額は大きく減少している。改良工事の費用として、総額4,446万8千円（弥栄病院187万円、久美浜病院4,259万8千円）、器械及び備品整備については1億5,241万円（弥栄病院9,938万1千円、久美浜病院5,302万9千円）を支出した。医師の確保や、多様化する患者ニーズに応えられるよう、診療の充実を目指した投資となっている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2億2,719万8千円は、損益勘定留保資金等で補てんしている。（別表22参照）

(3) 経営成績（税抜）

損益計算書による経営成績は、次のとおりである。

（決算書P12, P32, P42及び別表23参照）

（単位：千円、%）

区 分	令和元年度			平成30年度		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
総収益 (A)	6,965,126	4,102,651	2,862,475	6,727,897	3,909,607	2,818,290
総費用 (B)	7,239,674	4,438,308	2,801,366	7,288,770	4,499,936	2,788,834
純損益	△274,548	△335,657	61,109	△560,873	△590,329	29,456
比率(A)/(B)	96.2	92.4	102.2	92.3	86.9	101.1

総収益69億6,512万6千円に対して総費用72億3,967万4千円で、差引き2億7,454万8千円の純損失となっている。この結果、前年度繰越欠損金29億1,679万1千円を加え、当年度未処理欠損金（累積欠損金）は、31億9,133万9千円となっている。

病院別の状況については、弥栄病院の総収益は41億265万1千円、総費用は44億3,830万8千円で、差引き3億3,565万7千円の純損失となり、当年度未処理欠損金は、16億2,754万5千円となっている。医業収益は35億2,178万6千円で、前年度に比べて2億6,060万2千円（8.0%）増加、医業費用も41億2,858万2千円と、前年度に比べて1億7,374万8千円（4.4%）増加し、医業損失は6億679万6千円で前年度と比べ8,685万4千円の減となり、好転している。

次に、久美浜病院の総収益は28億6,247万5千円、総費用は28億136万6千円で、差引き6,110万9千円の純利益となり、当年度未処理欠損金は15億6,379万4千円となっている。医業収益は24億4,087万9千円で、前年度に比べて1億9,758万6千円

(8.8%)の増加となった。医業費用も26億1,788万1千円と、前年度に比べて2,007万7千円(0.8%)増加しており、医業損失は1億7,700万2千円で前年度と比べ1億7,750万9千円の減となり、好転している。

また、総収支比率は、別表23のとおり96.2%と3年連続の純損失となった。

医業における経営状態を示す比率は、次のとおりである。

(別表20参照)

(単位：%)

区 分	令和元年度			平成30年度		
		弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院
経常収支比率	95.1	92.0	100.2	94.9	92.0	99.4
医業収益対医業費用比率	89.2	85.9	94.5	84.7	83.0	87.1

経常収支比率は、収益と費用を対比して経営活動の成果を示すものであり、比率が大きいほど良好であるが、前年度に比べて0.2ポイントの上昇(弥栄病院増減無し、久美浜病院0.8ポイントの上昇)となった。

医業収益対医業費用比率は、医業費用に対する医業収益の比率を示すものであり、100%未満は医業収支が赤字であることになる。前年度に比べて4.5ポイントの上昇(弥栄病院2.9ポイントの上昇、久美浜病院7.4ポイントの上昇)となり、弥栄病院、久美浜病院共に経営状態は好転している結果となった。

(4) 財政状態(税抜)

貸借対照表による財政状態は、次のとおりである。

(別表24~27参照)

(単位：千円)

区 分	令和元年度			平成30年度			
		弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院	
資 産	固定資産	8,595,715	6,704,382	1,891,333	9,047,819	7,093,925	1,953,894
	流動資産	1,200,977	694,383	506,594	1,433,836	822,709	611,127
	計	9,796,692	7,398,765	2,397,927	10,481,655	7,916,634	2,565,021
負 債	固定負債	7,037,262	5,801,887	1,235,375	7,364,456	5,951,846	1,412,610
	流動負債	1,993,097	1,080,111	912,986	2,085,129	1,104,491	980,638
	繰延収益	804,386	453,928	350,458	1,125,922	616,346	509,576
	計	9,834,745	7,335,926	2,498,819	10,575,507	7,672,683	2,902,824
資 本	資本金	809,783	579,023	230,760	496,753	427,953	68,800
	剰余金	△847,836	△516,184	△331,652	△590,605	△184,002	△406,603
	計	△38,053	62,839	△100,892	△93,852	243,951	△337,803
負債資本合計	9,796,692	7,398,765	2,397,927	10,481,655	7,916,634	2,565,021	

資産の総額は97億9,669万2千円で、前年度に比べて6億8,496万3千円(6.5%)減少している。

固定資産は、総額では4億5,210万4千円の減で、主な内訳として、建物が2億6,669万3千円、構築物が1,885万6千円、器械及び備品が1億3,211万5千円の減であった。

流動資産である個人が窓口で支払うべき診療費の未収金の状況は、次のとおりである。

令和2年3月31日現在

(単位：千円)

区 分	令和元年度			平成30年度		
		弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院
未 収 金	54,184	34,073	20,111	56,953	35,021	21,932
不納欠損	166	166	0	104	104	0
債権放棄	166	166	—	104	104	—
債権消滅	0	0	—	0	0	—

未収金の総額は5,418万4千円で、前年度に比べて276万9千円(弥栄病院は94万8千円の減、久美浜病院は182万1千円の減)減少している。令和2年5月31日現在の未収金の総額は4,416万7千円で、前年度に比べて84万2千円(弥栄病院は115万6千円の減、久美浜病院は31万4千円の増)減少している。

負債の総額は98億3,474万5千円で、前年度に比べて7億4,076万2千円(7.0%)減少している。固定負債の減少は、企業債3億1,552万9千円、リース債務1,166万5千円の減少によるものであり、流動負債の減少は、未払金が4,198万8千円増加した一方で、一時借入金1億3,000万円減少したことなどによるものである。

資本の総額は△3,805万3千円で、前年度に比べて5,579万9千円(59.5%)増加している。

企業債の状況は次のとおりである。

(決算書 P33, P43, P58, P59, P66, P67 参照)

(単位：千円)

区 分	平成30年度末 残高	令和元年度		令和元年度末 残高	令和元年度 支払利息
		発行額	償還額		
弥栄病院	6,181,806	114,500	261,561	6,034,745	37,221
久美浜病院	1,678,512	94,000	265,902	1,506,610	30,458
合 計	7,860,318	208,500	527,463	7,541,355	67,679

企業債残高は、75億4,135万5千円で、前年度に比べて3億1,896万3千円(4.1%)減少している。医療器械購入及び施設整備のため、両病院で2億850万円を新たに借り入れているが、償還額がそれを上回ったことによるものである。

病院別の状況については、弥栄病院では、企業債残高は60億3,474万5千円で、前年度に比べて1億4,706万1千円(2.4%)減少している。企業債利息は3,722万1千円で、医業収益35億2,178万6千円に占める割合は1.1%(前年度1.1%)と横ばいである。

次に、久美浜病院では、企業債残高は15億661万円で、前年度に比べて1億7,190万2千円(10.2%)減少している。企業債利息は3,045万8千円で、医業収益24億4,087万9千円に占める割合は1.3%(前年度1.6%)と減少している。

(5) むすび

平成29年3月に「京丹後市立病院改革プラン【改訂版】」が策定され、令和元年度はその3年目として、改革プランに掲げた目標に向け地域医療を担う公立病院としての役割を果たすべく、経営の改善に向けて職員が知恵を出し合い、一丸となって取り組まれた。

病院の医療体制について、弥栄病院では、新たに常勤の外科医師を迎えたものの、産婦人科医師の急逝や院長の休職、逝去、内科医師の休職など、要となる医師の不在が重なり、厳しい医療体制での運営となったが、年度途中には、常勤の産婦人科医師、院長を迎えることができた。久美浜病院では、一昨年から減となっている内科医師の増員には至らず、前年度と同じ医師体制を何とか維持するにとどまった。両病院、医療部においては、医師不足の解消に向けて精力的に招へい活動を行うなど、その努力は高く評価できるが、医師の獲得につながりにくい状況にある。また、常勤医師の不足を補完すべく、京都府立医科大学、京都府立医科大学附属北部医療センター等から医師の派遣を受けるなど、地域住民が安心できる医療体制の確保に努めたことは評価できる。しかしながら、外来診療に加えて入院診療の体制を安定的に維持するには依然として常勤医師が不足しており、引き続き多方面からの招へい活動に尽力されたい。

また、京都市内、神戸市内の4病院から研修医45人を受け入れ、将来の地域医療を担う人材の育成に取り組まれ、その結果、医療体制の補完や常勤医師の負担軽減につながったことについても評価する。

平成27年度から弥栄病院に設置されている京都府立医科大学との共同研究講座「長寿・地域疫学講座」では、平成29年8月から本格的な健診を実施し、令和元年度末には累計の受診者数が500人を超えるなど順調に進捗している。調査結果等について、弘前大学のコホート研究と連携することで、長寿者の多い京丹後市域における健康・長寿要因の解明と、研究結果を生かした健康長寿施策の一層の充実につながることが期待される。

経常収支について、弥栄病院、久美浜病院共に医師体制が不十分な状況の中、収益増加につながる取組を工夫し実施したが、4年連続の赤字決算となった。両病院共に、外来診療、訪問看護で収入が増加した一方で入院診療が減少し、弥栄病院では減価償却

費などが増加、久美浜病院では給与費などが増加したことから、赤字となった。収支の改善には、安定的に入院収入を確保することが肝要であり、診療科ごとの患者数、診療収入などに注目し、患者のニーズに応えられるよう常勤医師の拡充や各部門の連携を図ることによって、医療体制を強化する必要がある。

個人が窓口で支払うべき診療費の未収金については、前年度に比べ減少している。電話及び文書による督促や訪問徴収に加え、弁護士法人への回収業務の委託やクレジットカードによる支払を導入しているが、依然、多額の未収金がある。負担の公平性、経営の健全化を推し進める観点から、診療費の滞納整理については、今後も関係部局等と連携して積極的な対応を求めるものである。また、現年分の新たな未収金の発生を防ぐため、窓口での啓発や個別対応を早期に実施するなど、債権の適正な管理と徴収に努められたい。

市の人口が年々減少し、また少子高齢化の一途をたどる中、主な歳入である地方交付税は、普通交付税の合併特例措置の逡減が令和元年度で終了し、市の財政状況は、より厳しさが増している。そのような中、一般会計から病院事業会計への繰入額は年々増加しており、市の財政を圧迫する一因ともなり得る状況である。基準内の繰入れであることに安住することなく、繰入額が少しでも縮減されるよう、危機感をもって経営改善への取組を強化し、企業として、常に採算性向上のための創意工夫を重ねられたい。

市立診療所も含めた公立病院は、将来にわたって地域医療、救急医療、産科・小児科医療、在宅医療、リハビリ等、幅広く必要な医療を提供し、公的医療施設に求められる役割を十分に果たさなければならない。市立病院と市直営診療所の持続可能な経営を確保するため、各地域の医療ニーズに合った医療施設の役割を分担し、市全体の医療体制として効率的な運営を検討することも必要である。

病院施設及び設備についても長期的な展望に立って計画的に整備し、患者サービスと医療の質の向上のため、有効に活用されたい。また、合併前からの課題である病院用地の借地問題について、その借地は病院施設の地上権が設定されているものの、市有地にすべきであり、解決するよう地権者との粘り強い交渉に努められたい。

なお、個別の審査項目として確認した業務契約について、京丹後市契約規則に基づく事務処理（起工伺い、予定価格の決定、見積書の徴取）がされていないものがあつた。これは、公平公正な契約事務の執行について疑念を持たれる要因にもなり得るため、契約の手続きに沿って適切に処理されたい。

医療を取り巻く環境の変化や多様化する患者のニーズを的確に把握し、今後も、全職員が経営感覚を常に念頭に置きながら、各病院の特色を生かして医療サービスの向上と経費削減に取り組まれたい。そして、市民に信頼され、地域に密着した良質で必要とされる医療等のサービスを提供し続けるためにも、安定的な経営基盤が確立されるよう強く望むものである。

水道事業会計 決算審査資料

別表 1	水道事業の概要	19
別表 2	収益的収支予算決算比較（税込）	20
別表 3	資本的収支予算決算比較（税込）	21
別表 4	損益計算書（税抜）	22
別表 5	経営の安定度に関する指標	23
別表 6	資産	24
別表 7	負債	24
別表 8	資本金	25
別表 9	剰余金	25
別表 10	未収金及び不納欠損額（税込）	26

病院事業会計 決算審査資料

別表 1 1	病院事業の概要	27
別表 1 2	入院患者・外来患者の状況	28
別表 1 3	訪問看護の状況	28
別表 1 4	通所リハビリテーションの状況	28
別表 1 5	診療科目別入院患者の状況（一般病床）	29
別表 1 6	診療科目別入院患者の状況（療養病床）	30
別表 1 7	診療科目別外来患者の状況	31
別表 1 8	病床利用率	32
別表 1 9	患者 1 人 1 日当たり診療収入	32
別表 2 0	収支比率	32
別表 2 1	収益的収支（税込）	33
別表 2 2	資本的収支（税込）	34
別表 2 3	損益計算書（税抜）	35
別表 2 4	資産	37
別表 2 5	負債	37
別表 2 6	資本金	38
別表 2 7	剰余金	38

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表 1

水道事業の概要

項目	年度	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	対前年比	
				増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
給水件数 (件)		24,006	13,604	10,402	76.5%
給水人口 (人)		50,938	29,294	21,644	73.9%
配水量					
年間総配水量 (m ³)		7,369,836	4,213,083	3,156,753	74.9%
一日最大配水量 (m ³)		24,977	14,181	10,796	76.1%
一日最小配水量 (m ³)		17,660	10,225	7,435	72.7%
一日平均配水量 (m ³)		20,136	11,543	8,593	74.4%
有収水量					
年間総有収水量 (m ³)		5,833,225	3,340,879	2,492,346	74.6%
有効率 (%)		81.87	81.19	0.68	0.8%
有収率 (%)		79.15	79.30	△ 0.15	△ 0.2%
供給単価 (円)		184円41銭	184円94銭	△53銭	△0.3%
給水原価 (円)		231円60銭	201円68銭	29円92銭	14.8%
資本費 (円)		125円80銭	104円91銭	20円89銭	19.9%
管路総延長 (km)		812.52	362.52	450.00	124.1%
石綿管総延長 (km)		14.43	6.88	7.55	109.7%
石綿管布設率 (%)		1.8	1.9	△ 0.1	△ 5.3%

- ・給水人口 定住人口による集計
- ・有効率 $\text{年間総有効水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、一般世帯などで有効に使用された水量（漏水量を除いた水量）の割合を示す指標
- ・有効水量 有収水量＋無収水量（メーター不感知分、消火栓使用分、管洗浄分等）
- ・有収率 $\text{年間総有収水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水がどれだけ料金徴収の基礎となったかを示す指標。数値が高いほど施設効率が良いことを示し、低い場合は漏水、メーターの不感、公共用水、消防用水等いくつかの要因が考えられる
- ・供給単価 $\text{給水収益} / \text{年間総有収水量}$
有収水量 1 m³当たりについて、どれだけの収益を得ているかを示す指標。
- ・給水原価 $(\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入} - \text{受託工事費}) / \text{年間総有収水量}$
有収水量 1 m³作るために、どれだけの費用がかかっているかを示す指標。
- ・資本費 $(\text{支払利息} + \text{減価償却費} - \text{長期前受金戻入}) / \text{年間総有収水量}$

別表 2 水道事業収益の収支予算決算比較（税込）

(1) 収 入

(単位：千円、%)

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②-①	収 入 率 ②/①
水道事業収益	1,388,612	1,473,509	84,897	106.1
営業収益	1,211,329	1,189,854	△ 21,475	98.2
給水収益	1,190,956	1,168,933	△ 22,023	98.1
その他営業収益	20,373	20,921	548	102.6
営業外収益	177,283	283,655	106,372	160.0
受取利息及び配当金	292	368	76	126.0
府補助金	34,284	34,285	1	100.0
他会計補助金	65,685	65,685	0	100.0
長期前受金戻入	34,167	172,075	137,908	503.6
雑収益	2,855	2,313	△ 542	81.0
消費税及び地方消費税還付金	40,000	8,929	△ 31,071	22.3

(2) 支 出

(単位：千円、%)

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	不用額 ①-②	執 行 率 ②/①
水道事業費用	1,700,934	1,573,926	127,008	92.5
営業費用	1,491,285	1,416,952	74,333	95.0
原水及び浄水費	513,705	406,445	107,260	79.1
配水及び給水費	170,698	136,426	34,272	79.9
業務費	61,489	57,187	4,302	93.0
総係費	57,908	50,623	7,285	87.4
減価償却費	626,593	761,428	△ 134,835	121.5
資産減耗費	60,892	4,843	56,049	7.9
営業外費用	148,491	144,925	3,566	97.5
支払利息及び企業債取扱諸費	146,441	144,469	1,972	98.6
雑支出	2,050	456	1,594	22.2
特別損失	51,158	12,049	39,109	23.5
資産減耗費	39,108	0	39,108	0.0
その他特別損失	12,050	12,049	1	99.9
予備費	10,000	0	10,000	0.0
予備費	10,000	0	10,000	0.0

別表3 水道事業資本の収支予算決算比較（税込）

(1) 収入

(単位：千円、%)

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①	収入率 ②/①
資本の収入	1,350,093	Ⓐ 768,349	△ 581,744	56.9
加入金	9,335	10,291	956	110.2
加入金	9,335	10,291	956	110.2
企業債	787,700	279,700	△ 508,000	35.5
企業債	787,700	279,700	△ 508,000	35.5
補助金	0	0	0	—
府補助金	0	0	0	—
他会計補助金	0	0	0	—
出資金	553,058	478,358	△ 74,700	86.4
他会計出資金	553,058	478,358	△ 74,700	86.4

(2) 支出

(単位：千円、%)

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	翌年度 繰越額③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本の支出	1,967,912	Ⓑ 1,368,460	484,681	114,771	69.5
建設改良費	1,390,058	790,607	484,681	114,770	56.8
固定資産取得費	18,217	8,559	0	9,658	46.9
施設改良事業費	660,067	276,455	278,500	105,112	41.8
中野浄水場更新整備事業費	711,774	505,593	206,181	0	71.0
企業債償還金	577,854	577,853	0	1	99.9
企業債償還金	577,854	577,853	0	1	99.9

(3) 資本の収入額が資本の支出額に対して不足する額

(単位：千円)

項目	金額	備考
資本の収支差引額 ①-②	△ 600,111	
補填財源	600,111	
消費税及び地方消費税資本の収支調整額	52,513	
繰越工事資金	0	
過年度分損益勘定留保資金	547,598	
当年度分損益勘定留保資金	0	
利益剰余金	0	

別表4 水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

年度 項目	令和元年度 ①	平成30年度 ②	対前年比	
			金額③ (①-②)	比率③/②*100
水道事業収益 (A)	1,370,966	660,461	710,505	107.6
営業収益 (C)	1,096,399	627,079	469,320	74.8
給水収益	1,075,694	617,860	457,834	74.1
その他営業収益	20,705	9,219	11,486	124.6
営業外収益	274,567	33,382	241,185	722.5
受取利息	368	666	△ 298	△ 44.7
府補助金	34,285	0	34,285	皆増
他会計補助金	65,685	935	64,750	6,925.1
長期前受金戻入	172,075	30,473	141,602	464.7
雑収益	2,154	1,308	846	64.7
水道事業費用 (B)	1,535,088	704,256	830,832	118.0
営業費用	1,378,140	648,169	729,971	112.6
原水及び浄水費	376,621	186,952	189,669	101.5
配水及び給水費	131,713	66,790	64,923	97.2
業務費	53,848	27,181	26,667	98.1
総係費	49,687	39,199	10,488	26.8
減価償却費	761,428	325,672	435,756	133.8
資産減耗費	4,843	2,375	2,468	103.9
その他営業費用	0	0	0	—
営業外費用	144,899	56,087	88,812	158.3
支払利息 (D)	144,469	55,297	89,172	161.3
雑支出	430	790	△ 360	△ 45.6
特別損失	12,049	0	12,049	皆増
過年度損益修正損	0	0	0	—
資産減耗費	0	0	0	—
その他特別損失	12,049	0	12,049	皆増
当年度純損益 (A)-(B)	△ 164,122	△ 43,795	△ 120,327	274.8
総収支比率 (A)/(B)	89.3	93.8	△ 4.5	
支払利息/営業収益 (D)/(C)	13.2	8.8	4.4	

別表5 水道事業経営の安定度に関する指標

(単位：%)

年度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	備 考
項目					
総収支比率		89.3	93.8	95.2	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ 経営収支の均衡度を総収益対費用の関係で見る指標。高い数値の方が好ましい。この率が100%未満であれば、純損失を生じている。
	類似団体全国平均値	—	105.7	108.8	
経常収支比率		90.0	93.8	95.2	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ 特別損益を除いた経常的な収支の関係を見る指標。高い数値の方が好ましい。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満は単年度赤字を表す。
	類似団体全国平均値	—	105.8	109.1	
営業収支比率		79.6	96.7	97.3	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事費収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$ 通常の営業活動に要する費用を、営業活動に必要なものとして徴収している給水収益等の営業収益で、どの程度賄っているかを示す指標。高い数値の方が好ましい。100%未満の場合は健全経営とはいえない。
	類似団体全国平均値	—	95.0	98.1	

別表 6

水道事業資産

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土地	563,136	363,602	199,534	54.9
	建物	573,775	215,592	358,183	166.1
	構築物	10,789,404	3,883,130	6,906,274	177.9
	機械及び装置	2,442,197	1,457,501	984,696	67.6
	車両運搬具	4,826	4,031	795	19.7
	工具器具及び備品	45,727	14,695	31,032	211.2
	建設仮勘定	1,040,631	552,417	488,214	88.4
	小計	15,459,696	6,490,968	8,968,728	138.2
流動資産	現金預金	1,251,987	1,473,510	△ 221,523	△ 15.0
	未収金	191,834	100,541	91,293	90.8
	貯蔵品	9,082	7,299	1,783	24.4
	前払金	89,124	17,357	71,767	413.5
	その他流動資産	0	0	0	—
	小計	1,542,027	1,598,707	△ 56,680	△ 3.5
合計		17,001,723	8,089,675	8,912,048	110.2

別表 7

水道事業負債

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企業債	8,731,677	2,793,015	5,938,662	212.6
	引当金	25,444	25,444	0	0.0
	その他固定負債	0	0	0	—
	小計	8,757,121	2,818,459	5,938,662	210.7
流動負債	一時借入金	53,600	0	53,600	皆増
	企業債	591,024	153,140	437,884	285.9
	未払金	232,795	461,819	△ 229,024	△ 49.6
	前受金	0	0	0	—
	引当金	11,987	7,557	4,430	58.6
	その他流動負債	1,596	7,430	△ 5,834	△ 78.5
	小計	891,002	629,946	261,056	41.4
繰延収益	長期前受金	4,323,718	1,590,894	2,732,824	171.8
	収益化累計額	△ 928,462	△ 759,156	△ 169,306	22.3
	小計	3,395,256	831,738	2,563,518	308.2
合計 (ア)		13,043,379	4,280,143	8,763,236	204.7

別表8 水道事業資本金

(単位：千円、%)

年度 項目		令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	対前年比	
				金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
自己資本金	自己資本金	3,517,860	3,039,502	478,358	15.7
借入資本金	企業債	—	—	—	—
合計 (イ)		3,517,860	3,039,502	478,358	15.7

別表9 水道事業剰余金

(単位：千円、%)

年度 項目		令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	対前年比	
				金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
資本剰余金	再評価積立金	1,972	1,972	0	0.0
	加入金	17,883	17,883	0	0.0
	補助金	67,948	67,948	0	0.0
	受贈財産評価額	267,845	267,845	0	0.0
	寄附金	3,243	3,243	0	0.0
	工事負担金	35,637	35,637	0	0.0
	補償金	—	—	—	—
	小計	394,528	394,528	0	0.0
利益剰余金	減債積立金	3,600	3,600	0	0.0
	建設改良積立金	127,328	127,328	0	0.0
	当年度未処分利益剰余金	△ 84,972	244,574	△ 329,546	△ 134.7
	(うち当年度純利益)	(△ 164,122)	(△ 43,795)	(△ 120,327)	(△ 274.8)
	小計	45,956	375,502	△ 329,546	△ 87.8
合計 (ウ)		440,484	770,030	△ 329,546	△ 42.8

資本合計 (イ)+(ウ)	3,958,344	3,809,532	148,812	3.9
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	17,001,723	8,089,675	8,912,048	110.2

別表10 水道事業未収金及び不納欠損額（税込）

令和2年3月31日現在

（単位：円、件）

	未 収 金				不 納 欠 損			
	令和元年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和元年度	26,020	101,736,391			5	17,401		
平成30年度	1,102	5,251,825	14,807	55,062,175	0	0	0	0
平成29年度	923	3,649,465	634	2,352,477	1	2,104	0	0
平成28年度	882	3,795,656	615	2,596,378	0	0	3	3,126
平成27年度	873	3,768,882	586	2,226,027	2	2,792	10	23,518
平成26年度	893	3,573,334	622	2,243,554	33	127,831	27	45,845
平成25年度	899	3,464,006	600	2,016,659	32	34,750	32	42,720
平成24年度	1,254	4,784,339	959	3,168,779	39	43,710	26	46,140
平成23年度	1,260	4,684,347	896	2,968,400	79	202,380	16	47,200
平成22年度	1,722	6,304,063	1,138	3,964,241	115	231,410	20	48,610
平成21年度	1,523	5,389,470	1,046	3,711,670	111	154,930	27	72,250
平成20年度	1,107	3,815,536	730	2,455,765	121	220,210	17	39,460
平成19年度	862	3,359,685	526	1,913,635	83	140,130	7	10,170
平成18年度	751	2,634,122	492	1,664,086	76	133,870	25	23,750
平成17年度	494	1,999,884	344	1,336,782	53	81,750	14	14,580
平成16年度	390	1,588,583	272	1,121,972	15	33,420	11	11,090
平成15年度	595	2,811,219	384	1,985,854	40	96,711	13	17,500
平成14年度	527	2,393,771	316	1,559,380	14	27,900	13	19,070
平成13年度	419	1,539,400	282	888,374	45	135,035	2	2,620
平成12年度	294	1,125,105	192	682,505	27	83,010	0	0
平成11年度	254	1,008,713	191	734,433	21	49,910	0	0
平成10年度	181	736,044	155	643,550	19	64,900	0	0
平成9年度	172	696,385	125	548,370	12	50,585	0	0
平成8年度	129	534,973	112	484,670	7	30,595	0	0
平成7年度	83	393,080	59	279,640	0	0	0	0
平成6年度	65	199,832	54	143,950	0	0	0	0
平成5年度	37	188,900	44	109,654	11	14,000	0	0
合 計	43,711	171,427,010	26,181	96,862,980	961	1,979,334	263	467,649

令和2年5月31日現在

（単位：円、件）

	令和元年度		平成30年度		差引増減		備 考
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
現年度 滞納水道料金	2,184	9,163,115	980	3,163,426	1,204	5,999,689	
過年度 滞納水道料金	17,504	69,018,346	11,217	41,297,522	6,287	27,720,824	
合 計	19,688	78,181,461	12,197	44,460,948	7,491	33,720,513	

別表 1 1

病院事業の概要

項 目		単位	弥 栄 病 院			久 美 浜 病 院				
			令和元年度	平成30年度	対前年比 (R1-H30)	令和元年度	平成30年度	対前年比 (R1-H30)		
医 業	病床数 ※1	床	199	199	0	170	170	0		
		年間延	床	72,834	72,849	△ 15	62,220	62,050	170	
	患 者 数	入 院	年間延	人	50,168	52,843	△ 2,675	54,017	55,364	△ 1,347
			1日平均	人	137.1	144.8	△ 7.7	147.6	151.7	△ 4.1
		外 来	年間延	人	96,549	98,025	△ 1,476	77,091	77,178	△ 87
			1日平均	人	399.0	401.7	△ 2.7	318.6	316.3	2.3
	病床利用率		%	68.9	72.5	△ 3.6	86.8	89.2	△ 2.4	
	外来診療実日数		日	242	244	△ 2	242	244	△ 2	
	医業費用(税抜)		千円	4,128,582	3,954,834	173,748	2,617,881	2,597,804	20,077	
	医業収益(税抜)		千円	3,521,786	3,261,184	260,602	2,440,879	2,243,293	197,586	
	入 院 外 来 収 益 (税 抜)	入 院	総 額	千円	1,676,054	1,684,986	△ 8,932	1,506,324	1,508,586	△ 2,262
			1人1日 平 均	円	33,409	31,887	1,522	27,886	27,249	637
		外 来	総 額	千円	1,475,312	1,407,242	68,070	665,851	654,477	11,374
1人1日 平 均			円	15,280	14,356	924	8,637	8,480	157	
訪 問 看 護 事 業 (事 業 日 数 は 外 来 診 療 実 日 数 に 同 じ)	訪問実人数		人	2,952	2,700	252	1,459	1,243	216	
	訪問延人数		人	12,135	11,091	1,044	7,025	6,046	979	
	1日平均 訪問患者数		人	50.1	45.5	4.6	29.0	24.8	4.2	
通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業 (事 業 日 数 は 外 来 診 療 実 日 数 に 同 じ)	通所実人数		人				609	577	32	
	通所延人数		人				4,182	3,974	208	
	1日平均 通所患者数		人				17.3	16.3	1.0	
職 員 数 (年 度 末 現 在)	医 師		人	12	8	4	17	17	0	
	看 護 師 ※2		人	130	128	2	96	95	1	
	そ の 他		人	62	65	△ 3	34	34	0	
	計		人	204	201	3	147	146	1	

※1 弥栄病院は、平成30年10月31日までは200床

※2 職員数の看護師には准看護師及び助産師を含む

別表 12 入院患者・外来患者の状況

(単位：人、%)

区 分		年 度	令和元年度		平成30年度		対前年比 (R1/H30)	
			延患者数 (A)	1日平均 患者数	延患者数 (B)	1日平均 患者数	増減 (C) = (A-B)	比率 (C)/(B) ×100
入 院	一般病床(260床) 合計		70,413	192.4	73,494	201.4	△ 3,081	△ 4.2
	弥栄病院 (150床)		35,166	96.1	37,220	102.0	△ 2,054	△ 5.5
	久美浜病院 (110床)		35,247	96.3	36,274	99.4	△ 1,027	△ 2.8
	療養病床(109床) 合計		33,772	92.3	34,713	95.1	△ 941	△ 2.7
	弥栄病院 (49床)※1		15,002	41.0	15,623	42.8	△ 621	△ 4.0
	久美浜病院 (60床)		18,770	51.3	19,090	52.3	△ 320	△ 1.7
外 来	合計		173,640	717.6	175,203	718.0	△ 1,563	△ 0.9
	弥栄病院(診療実日数：242日)		96,549	399.0	98,025	401.7	△ 1,476	△ 1.5
	久美浜病院(診療実日数：242日)		77,091	318.6	77,178	316.3	△ 87	△ 0.1

※1 平成29年11月25日から平成30年10月31日までは50床

別表 13 訪問看護の状況

(単位：人)

区 分		年 度	令和元年度			平成30年度			対前年比	
			訪問 実人数 (A)	訪問 延人数 (B)	1日平均 訪問 患者数	訪問 実人数 (C)	訪問 延人数 (D)	1日平均 訪問 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合計			4,411	19,160	79.1	3,943	17,137	70.3	468	2,023
弥栄病院			2,952	12,135	50.1	2,700	11,091	45.5	252	1,044
久美浜病院			1,459	7,025	29.0	1,243	6,046	24.8	216	979

別表 14 通所リハビリテーションの状況

(単位：人、%)

区 分		年 度	令和元年度			平成30年度			対前年比	
			通所 実人数 (A)	通所 延人数 (B)	1日平均 通所 患者数	通所 実人数 (C)	通所 延人数 (D)	1日平均 通所 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合計			609	4,182	17.3	577	3,974	16.3	32	208
弥栄病院										
久美浜病院			609	4,182	17.3	577	3,974	16.3	32	208

別表 15 診療科目別入院患者の状況(一般病床)

診療科	年度	令和元年度			平成30年度			対前年比 (R1-H30)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥栄病院									
150 床	内科	15,039	41.1	42.8	21,153	58.0	56.8	△ 6,114	△ 16.9
	外科	4,183	11.4	11.9	0	0.0	0.0	4,183	11.4
	整形外科	9,314	25.5	26.5	7,791	21.3	20.9	1,523	4.2
	産婦人科	1,370	3.7	3.9	3,847	10.5	10.4	△ 2,477	△ 6.8
	小児科	243	0.7	0.7	0	0.0	0.0	243	0.7
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼科	1,805	4.9	5.1	1,514	4.2	4.1	291	0.7
	泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	人工透析	3,212	8.8	9.1	2,915	8.0	7.8	297	0.8
	リハビリテーション科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	総合診療科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
小計	35,166	96.1	100.0	37,220	102.0	100.0	△ 2,054	△ 5.9	
久美浜病院									
110 床	内科	19,944	54.5	56.6	19,866	54.4	54.8	78	0.1
	外科	4,001	10.9	11.4	4,725	13.0	13.0	△ 724	△ 2.1
	整形外科	4,104	11.2	11.6	3,965	10.9	10.9	139	0.3
	小児科	2,304	6.3	6.5	2,272	6.2	6.3	32	0.1
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼科	195	0.6	0.6	174	0.5	0.5	21	0.1
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	1,143	3.1	3.2	1,133	3.1	3.1	10	0.0
	歯科・歯科 口腔外科	3,556	9.7	10.1	4,139	11.3	11.4	△ 583	△ 1.6
	心療内科・ 精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小計	35,247	96.3	100.0	36,274	99.4	100.0	△ 1,027	△ 3.1
合計	70,413	192.4		73,494	201.4		△ 3,081	△ 9.0	

別表 16

診療科目別入院患者の状況（療養病床）

診療科	年 度	令和元年度			平成30年度			対前年比 (R1-H30)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
49床 ※	弥栄病院								
	内 科	15,002	41.0	100.0	15,623	42.8	100.0	△ 621	△ 1.8
	外 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	整形外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	産婦人科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小児科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	人工透析	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	リハビリテーション科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	総合診療科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
小 計	15,002	41.0	100.0	15,623	42.8	100.0	△ 621	△ 1.8	
60床	久美浜病院								
	内 科	15,450	42.2	82.3	13,803	37.8	72.3	1,647	4.4
	外 科	1,826	5.0	9.7	2,090	5.7	11.0	△ 264	△ 0.7
	整形外科	561	1.5	3.0	1,717	4.7	9.0	△ 1,156	△ 3.2
	小児科	20	0.1	0.1	63	0.2	0.3	△ 43	△ 0.1
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	913	2.5	4.9	1,417	3.9	7.4	△ 504	△ 1.4
	歯科・歯科 口腔外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	心療内科・ 精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小 計	18,770	51.3	100.0	19,090	52.3	100.0	△ 320	△ 1.0
合 計	33,772	92.3		34,713	95.1		△ 941	△ 2.8	

※平成29年11月25日から平成30年10月31日までは50床

別表 17

診療科目別外来患者の状況

診療科		令和元年度			平成30年度			対前年比 (R1-H30)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥 栄 病 院	内科	25,009	103.4	25.9	25,933	106.3	26.5	△ 924	△ 2.9
	外科	1,589	6.6	1.7	690	2.8	0.7	899	3.8
	整形外科	22,233	91.9	23.0	20,941	85.8	21.4	1,292	6.1
	産婦人科	6,691	27.6	6.9	10,622	43.5	10.8	△ 3,931	△ 15.9
	小児科	3,660	15.1	3.8	3,459	14.2	3.5	201	0.9
	耳鼻咽喉科	2,182	9.0	2.3	1,902	7.8	1.9	280	1.2
	眼科	15,875	65.6	16.4	16,097	66.0	16.4	△ 222	△ 0.4
	泌尿器科	1,573	6.5	1.6	1,416	5.8	1.4	157	0.7
	人工透析	8,435	34.9	8.7	8,032	32.9	8.2	403	2.0
	リハビリテーション科	857	3.5	0.9	771	3.1	0.8	86	0.4
	皮膚科	2,277	9.5	2.4	2,048	8.4	2.1	229	1.1
	総合診療科	2,647	10.9	2.7	2,992	12.3	3.1	△ 345	△ 1.4
	精神科	3,521	14.5	3.7	3,122	12.8	3.2	399	1.7
	小計	96,549	399.0	100.0	98,025	401.7	100.0	△ 1,476	△ 2.7
久 美 浜 病 院	内科	30,018	124.0	38.9	31,250	128.1	40.5	△ 1,232	△ 4.1
	外科	5,034	20.8	6.5	4,962	20.3	6.4	72	0.5
	整形外科	5,343	22.1	6.9	5,546	22.7	7.2	△ 203	△ 0.6
	小児科	9,695	40.1	12.6	10,237	42.0	13.3	△ 542	△ 1.9
	皮膚科	1,455	6.0	1.9	1,230	5.1	1.6	225	0.9
	眼科	4,395	18.2	5.7	3,625	14.9	4.7	770	3.3
	耳鼻咽喉科	1,614	6.7	2.1	1,322	5.4	1.7	292	1.3
	泌尿器科	3,786	15.6	4.9	2,765	11.3	3.6	1,021	4.3
	歯科・歯科 口腔外科	15,410	63.7	20.0	15,990	65.5	20.7	△ 580	△ 1.8
	心療内科・ 精神科	341	1.4	0.5	251	1.0	0.3	90	0.4
	小計	77,091	318.6	100.0	77,178	316.3	100.0	△ 87	2.3
合計	173,640	717.6		175,203	718.0		△ 1,563	△ 0.4	

別表18 病床利用率

(単位：%)

区分	算出方法	年度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	対前年比 (R1-H30)
		病院	合計				
一般病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合計		74.0	77.4	83.2	△ 3.4
		弥栄病院		64.1	68.0	80.2	△ 3.9
		久美浜病院		87.5	90.3	87.3	△ 2.8
療養病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合計		84.7	86.8	86.1	△ 2.1
		弥栄病院		83.7	86.3	83.5	△ 2.6
		久美浜病院		85.5	87.2	88.2	△ 1.7

別表19 患者1人1日当たり診療収入

(単位：円)

区分	算出方法	年度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	対前年比 (R1-H30)
		病院	合計				
入院診療収入 (一般病床)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	合計		36,221	34,460	34,651	1,761
		弥栄病院		39,542	37,281	37,924	2,261
		久美浜病院		32,907	31,566	30,518	1,341
入院診療収入 (療養病床)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	合計		18,713	19,041	17,442	△ 328
		弥栄病院		19,032	19,036	18,000	△ 4
		久美浜病院		18,458	19,045	17,013	△ 587
外来診療収入	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	合計		12,331	11,768	11,617	563
		弥栄病院		15,280	14,356	14,408	924
		久美浜病院		8,637	8,480	7,959	157
訪問看護収入	$\frac{\text{訪問看護事業収益}}{\text{年延訪問看護患者数}}$	合計		9,169	9,154	9,192	15
		弥栄病院		9,429	9,355	9,209	74
		久美浜病院		8,719	8,785	9,156	△ 66
通所リハビリ収入	$\frac{\text{通所リハビリ事業収益}}{\text{年延通所患者数}}$	合計		9,828	9,765	10,198	63
		弥栄病院					
		久美浜病院		9,828	9,765	10,198	63

別表20 病院事業収支比率

(単位：%)

区分	算出方法	年度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	対前年比 (R1-H30)
		病院	合計				
経常収支比率	$\frac{\text{医業収益+医業外収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+医業外費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合計		95.1	94.9	96.6	0.2
		弥栄病院		92.0	92.0	97.5	0.0
		久美浜病院		100.2	99.4	95.0	0.8
医業収益対 医業費用比率	$\frac{\text{医業収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合計		89.2	84.7	86.2	4.5
		弥栄病院		85.9	83.0	88.5	2.9
		久美浜病院		94.5	87.1	82.7	7.4

別表 21

病院事業収益の収支（税込）

（単位：千円）

区 分		令和元年度			平成30年度		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
収益的収入	医 業 収 益	5,983,628	3,535,228	2,448,400	5,523,681	3,273,106	2,250,575
	医 業 外 収 益	705,815	444,620	261,195	966,026	532,138	433,888
	訪問看護事業収益	175,676	114,426	61,250	156,869	103,752	53,117
	通所リハビリテーション事業収益	41,101		41,101	38,806		38,806
	特 別 利 益	81,846	22,554	59,292	64,176	13,918	50,258
	合 計	6,988,066	4,116,828	2,871,238	6,749,558	3,922,914	2,826,644
収益的支出	医 業 費 用	6,954,608	4,266,540	2,688,068	6,731,350	4,072,008	2,659,342
	医 業 外 費 用	126,430	79,296	47,134	121,272	68,098	53,174
	訪問看護事業費用	145,178	104,205	40,973	144,249	98,135	46,114
	通所リハビリテーション事業費用	33,248		33,248	36,380		36,380
	特 別 損 失	5,400	2,700	2,700	269,142	265,842	3,300
	予 備 費	0	0	0	0	0	0
	合 計	7,264,864	4,452,741	2,812,123	7,302,393	4,504,083	2,798,310

別表 22

病院事業資本の収支（税込）

（単位：千円）

区 分		令和元年度			平成30年度			
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
資 本 的 収 入 源	企 業 債	182,800	108,800	74,000	1,562,400	1,550,000	12,400	
	他 会 計 負 担 金	17,317	3,475	13,842	274,250	119,523	154,727	
	補 助 金	5,500	2,750	2,750	122,344	106,904	15,440	
	他 会 計 出 資 金	313,030	151,070	161,960	0	0	0	
	長 期 貸 付 金 返 還 金	1,500	750	750	3,750	1,875	1,875	
	寄 附 金	250	250	0	0	0	0	
	小 計	520,397	267,095	253,302	1,962,744	1,778,302	184,442	
	補 填 財 源	消費税及び地方 消費税資本の 収 支 調 整 額	0	0	0	0	0	0
		繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
		損 益 勘 定 留 保 資 金 等	227,198	111,772	115,426	197,948	99,729	98,219
		利 益 剰 余 金	0	0	0	0	0	0
		小 計	227,198	111,772	115,426	197,948	99,729	98,219
	合 計	747,595	378,867	368,728	2,160,692	1,878,031	282,661	
資 本 的 支 出	建 設 改 良 費	211,082	112,781	98,301	1,696,646	1,665,470	31,176	
	企 業 債 償 還 金	527,463	261,561	265,902	452,496	206,786	245,710	
	長 期 貸 付 金	9,050	4,525	4,525	11,550	5,775	5,775	
	合 計	747,595	378,867	368,728	2,160,692	1,878,031	282,661	

別表 23

病院事業損益計算書（税抜）

（単位：千円）

区 分	年 度	令和元年度			平成30年度			対前年比(R1-H30)			対前年度比 計 (%) R1/H30 *100-100
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業収益	(A)	6,965,126	4,102,651	2,862,475	6,727,897	3,909,607	2,818,290	237,229	193,044	44,185	3.5
医業収益		5,962,665	3,521,786	2,440,879	5,504,477	3,261,184	2,243,293	458,188	260,602	197,586	8.3
入院収益		3,182,378	1,676,054	1,506,324	3,193,572	1,684,986	1,508,586	△ 11,194	△ 8,932	△ 2,262	△ 0.4
外来収益		2,141,164	1,475,313	665,851	2,061,719	1,407,242	654,477	79,445	68,071	11,374	3.9
他会計負担金		410,632	214,448	196,184	0	0	0	410,632	214,448	196,184	皆増
その他医業収益		228,491	155,971	72,520	249,186	168,956	80,230	△ 20,695	△ 12,985	△ 7,710	△ 8.3
医業外収益		703,838	443,885	259,953	963,569	530,753	432,816	△ 259,731	△ 86,868	△ 172,863	△ 27.0
受取利息配当金		5	3	2	6	4	2	△ 1	△ 1	0	△ 16.7
他会計補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
補助金		26,030	12,895	13,135	27,707	15,114	12,593	△ 1,677	△ 2,219	542	△ 6.1
負担金交付金		394,047	275,497	118,550	663,168	372,036	291,132	△ 269,121	△ 96,539	△ 172,582	△ 40.6
患者外給食収益		1,551	1,376	175	2,037	1,590	447	△ 486	△ 214	△ 272	△ 23.9
長期前受金戻入		232,808	135,978	96,830	222,419	119,379	103,040	10,389	16,599	△ 6,210	4.7
その他医業外収益		49,397	18,136	31,261	48,232	22,630	25,602	1,165	△ 4,494	5,659	2.4
訪問看護事業収益		175,677	114,427	61,250	156,869	103,752	53,117	18,808	10,675	8,133	12.0
訪問看護療養費収益		163,140	106,305	56,835	144,900	95,948	48,952	18,240	10,357	7,883	12.6
利用料収益		12,537	8,122	4,415	11,969	7,804	4,165	568	318	250	4.7
通所リハビリテーション事業収益		41,101		41,101	38,806		38,806	2,295		2,295	5.9
通所リハビリテーション療養費収益		34,757		34,757	32,260		32,260	2,497		2,497	7.7
利用料収益		6,344		6,344	6,546		6,546	△ 202		△ 202	△ 3.1
その他事業収益		0		0	0		0	0		0	—
特別利益		81,845	22,553	59,292	64,176	13,918	50,258	17,669	8,635	9,034	27.5
過年度損益修正益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
長期前受金戻入		75,680	18,954	56,726	57,934	10,167	47,767	17,746	8,787	8,959	30.6
その他特別利益		6,165	3,599	2,566	6,242	3,751	2,491	△ 77	△ 152	75	△ 1.2

(単位：千円)

区 分	年 度	令和元年度			平成30年度			対前年比(R1-H30)			対前年度比 計 (%) R1/H30 *100-100
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業費用	(B)	7,239,674	4,438,308	2,801,366	7,288,770	4,499,936	2,788,834	△ 49,096	△ 61,628	12,532	△ 0.7
医業費用		6,746,463	4,128,582	2,617,881	6,552,638	3,954,834	2,597,804	193,825	173,748	20,077	3.0
給与費		3,840,652	2,142,491	1,698,161	3,819,061	2,167,236	1,651,825	21,591	△ 24,745	46,336	0.6
材料費		1,402,102	1,053,844	348,258	1,360,157	1,034,781	325,376	41,945	19,063	22,882	3.1
経 費		868,650	461,796	406,854	906,415	475,999	430,416	△ 37,765	△ 14,203	△ 23,562	△ 4.2
減価償却費		603,251	453,380	149,871	427,058	251,679	175,379	176,193	201,701	△ 25,508	41.3
資産減耗費		7,004	5,525	1,479	12,857	12,857	0	△ 5,853	△ 7,332	1,479	△ 45.5
研究研修費		24,804	11,546	13,258	27,090	12,282	14,808	△ 2,286	△ 736	△ 1,550	△ 8.4
医業外費用		310,157	203,170	106,987	287,248	181,494	105,754	22,909	21,676	1,233	8.0
支払利息及び企業債取 扱諸費		68,291	37,701	30,590	70,828	35,368	35,460	△ 2,537	2,333	△ 4,870	△ 3.6
長期前払消費税償却		42,805	32,555	10,250	36,848	27,031	9,817	5,957	5,524	433	16.2
患者外給食材料費		1,518	1,407	111	1,833	1,635	198	△ 315	△ 228	△ 87	△ 17.2
雑損失		197,543	131,507	66,036	177,739	117,460	60,279	19,804	14,047	5,757	11.1
訪問看護事業費用		144,639	103,856	40,783	143,662	97,766	45,896	977	6,090	△ 5,113	0.7
給与費		139,647	100,606	39,041	137,185	93,591	43,594	2,462	7,015	△ 4,553	1.8
材料費		178	59	119	179	39	140	△ 1	20	△ 21	△ 0.6
経 費		4,606	3,082	1,524	5,992	3,951	2,041	△ 1,386	△ 869	△ 517	△ 23.1
研究研修費		208	109	99	306	185	121	△ 98	△ 76	△ 22	△ 32.0
通所リハビリテーション事 業費用		33,015		33,015	36,080		36,080	△ 3,065		△ 3,065	△ 8.5
給与費		30,233		30,233	32,233		32,233	△ 2,000		△ 2,000	△ 6.2
材料費		1,454		1,454	1,752		1,752	△ 298		△ 298	△ 17.0
経 費		1,287		1,287	2,060		2,060	△ 773		△ 773	△ 37.5
研究研修費		41		41	35		35	6		6	17.1
特別損失		5,400	2,700	2,700	269,142	265,842	3,300	△ 263,742	△ 263,142	△ 600	—
過年度損益修正損		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
その他特別損失		5,400	2,700	2,700	269,142	265,842	3,300	△ 263,742	△ 263,142	△ 600	—
当年度純損益	(A)-(B)	△ 274,548	△ 335,657	61,109	△ 560,873	△ 590,329	29,456	286,325	254,672	31,653	△ 51.0
当年度未処理欠損金		3,191,339	1,627,545	1,563,794	2,916,791	1,291,888	1,624,903	274,548	335,657	△ 61,109	9.4
総収益対総費用比率 (A)/(B)		96.2	92.4	102.2	92.3	86.9	101.1	3.9	5.5	1.1	

(注) 制度改正に伴い、平成26年度以降の当年度未処理欠損金は、(前年度繰越欠損金+当年度純損益-その他未処分利益剰余金変動額)により計算

別表 24

病 院 事 業 資 産

(単位：千円)

区 分	年 度	令和元年度末 償却未済高			平成30年度末 償却未済高		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定資産		8,595,715	6,704,382	1,891,333	9,047,819	7,093,925	1,953,894
有形固定資産		8,144,662	6,328,821	1,815,841	8,571,485	6,694,389	1,877,096
土 地		511,889	101,999	409,890	511,889	101,999	409,890
建 物		6,089,003	5,034,835	1,054,168	6,355,696	5,262,350	1,093,346
構 築 物		274,634	242,586	32,048	293,490	258,366	35,124
器械及び備品		1,219,906	908,787	311,119	1,352,021	1,021,100	330,921
車 両		11,989	3,373	8,616	12,818	5,003	7,815
リース資産		37,241	37,241	0	45,571	45,571	0
建設仮勘定		0	0	0	0	0	0
無形固定資産		1,927	523	1,404	2,850	1,307	1,543
電話加入権		523	523	0	523	523	0
ソフトウェア		0	0	0	784	784	0
下水道利用権		1,404	0	1,404	1,543	0	1,543
投 資		449,126	375,038	74,088	473,484	398,229	75,255
長期貸付金		40,400	20,200	20,200	38,250	19,125	19,125
長期前払消費税		408,726	354,838	53,888	435,234	379,104	56,130
流動資産		1,200,977	694,383	506,594	1,433,836	822,709	611,127
現金預金		312,378	164,098	148,280	429,527	212,096	217,431
未 収 金		865,168	518,116	347,052	983,752	598,986	384,766
貯 蔵 品		23,357	12,095	11,262	20,446	11,516	8,930
その他流動資産		74	74	0	111	111	0
合 計		9,796,692	7,398,765	2,397,927	10,481,655	7,916,634	2,565,021

別表 25

病 院 事 業 負 債

(単位：千円)

区 分	年 度	令和元年度末 現在高			平成30年度末 現在高		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定負債		7,037,262	5,801,887	1,235,375	7,364,456	5,951,846	1,412,610
企業債		7,017,326	5,781,951	1,235,375	7,332,855	5,920,245	1,412,610
リース債務		19,936	19,936	0	31,601	31,601	0
流動負債		1,993,097	1,080,111	912,986	2,085,129	1,104,491	980,638
一時借入金		840,000	450,000	390,000	970,000	490,000	480,000
企業債		524,029	252,794	271,235	527,463	261,561	265,902
リース債務		11,665	11,665	0	11,529	11,529	0
未 払 金		377,766	225,486	152,280	335,778	202,447	133,331
引 当 金		228,622	129,682	98,940	230,169	129,288	100,881
その他流動負債		11,015	10,484	531	10,190	9,666	524
繰延収益		804,386	453,928	350,458	1,125,922	616,346	509,576
長期前受金		4,350,718	2,145,478	2,205,240	4,373,140	2,157,924	2,215,216
長期前受金収益化累計額		△ 3,546,332	△ 1,691,550	△ 1,854,782	△ 3,247,218	△ 1,541,578	△ 1,705,640
負 債 合 計 (ア)		9,834,745	7,335,926	2,498,819	10,575,507	7,672,683	2,902,824

別表 26

病院事業資本金

(単位：千円)

区 分	年 度	令和元年度決算額			平成30年度決算額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固有資本金		28,065	15,532	12,533	28,065	15,532	12,533
出 資 金		384,297	166,070	218,227	71,267	15,000	56,267
組入資本金		397,421	397,421	0	397,421	397,421	0
資本金合計 (イ)		809,783	579,023	230,760	496,753	427,953	68,800

別表 27

病院事業剰余金

(単位：千円)

区 分	年 度	令和元年度決算額			平成30年度決算額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
資本剰余金		2,343,503	1,111,361	1,232,142	2,326,186	1,107,886	1,218,300
受贈財産評価額		51,061	8,440	42,621	51,061	8,440	42,621
寄 附 金		8,075	6,075	2,000	8,075	6,075	2,000
他会計負担金		1,816,541	681,646	1,134,895	1,816,541	681,646	1,134,895
補 助 金		393,359	383,150	10,209	393,359	383,150	10,209
その他資本剰余金		74,467	32,050	42,417	57,150	28,575	28,575
利益剰余金 (a+b+c-d)		△ 3,191,339	△ 1,627,545	△ 1,563,794	△ 2,916,791	△ 1,291,888	△ 1,624,903
減債積立金 a		0	0	0	0	0	0
利益積立金 b		0	0	0	0	0	0
建設改良積立金 c		0	0	0	0	0	0
当年度未処理欠損金 d		3,191,339	1,627,545	1,563,794	2,916,791	1,291,888	1,624,903
(うち当年度純損益)		(△ 274,548)	(△ 335,657)	(61,109)	(△ 560,873)	(△ 590,329)	(29,456)
剰余金合計 (ウ)		△ 847,836	△ 516,184	△ 331,652	△ 590,605	△ 184,002	△ 406,603

資本合計 (イ)+(ウ)	△ 38,053	62,839	△ 100,892	△ 93,852	243,951	△ 337,803
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	9,796,692	7,398,765	2,397,927	10,481,655	7,916,634	2,565,021